

まちを耕し、ひとを育む



Ishinomaki  
Kawanokami  
Project

# 仙台藩の「教育」と 「人づくり」から考える あらたな地域づくり

写真：岩出山・有備館

## イシノマキ・ カワノカミ大学 #007

2014年11月29日(土)

受付 16:15  
第1部 セッション 17:00~20:00  
第2部 懇親会 20:00~  
会場 川の上・百俵館(三浦家敷地内)  
宮城県石巻市小船越字山畑343-1  
参加費 2,500円(懇親会代・講演会費無料)  
\*学生の方は懇親会代も無料です。  
主催 石巻・川の上プロジェクト  
090-8310-8783(担当:三浦)  
<http://kawanokami.com>

講師

大川 真

MAKOTO OKAWA / MUSEUM DIRECTOR  
吉野作造記念館 館長

イシノマキ・カワノカミ大学では、第一線で活躍されている講師をお迎えし、まちづくりの「種」になるご講演をいただきます。#007では、研究者でありながら民間の立場で地域の人づくりを実践し続け、東北に独立した文化をつくることを追い求める、大川真先生をお招きし、「仙台藩の教育と人づくりから考えるあらたな地域づくり」と題してご講演いただきます。

1974年群馬県生まれ。1993年群馬県立沼田高等学校卒業。1998年東北大学文学部卒業。2000年東北大学大学院文学研究科博士課程前期修了(修士(文学))。2008年東北大学大学院文学研究科博士課程後期修了(博士(文学))。東北大学大学院文学研究科助教(～2011年3月)、吉野作造記念館副館長を経て現職。現在、国際日本文化研究センター共同研究員、山形県立米沢女子短期大学非常勤講師を兼任。



# FAX 申込書

FAX: 0225-22-4554

イシノマキ・カワノカミ大学 事務局宛

お問い合わせ：090-8310-8783 (担当：三浦)

ご芳名 (フリガナ)

年齢

才

ご住所 (フリガナ)

〒

E-mail

☎

( ) -

ご出席の場合は、FAXもしくはWEB / Eメールにてお申込みください。お申込み締め切りは、11月22日(土)とさせていただきます。なお、お席には40席と限りがございます。満席になり次第締め切らせていただきますので、お申し込みはお早めをお願いいたします。

Eメールでのお申し込み

→ [info@kawanokami.com](mailto:info@kawanokami.com)

Webからのお申し込み

→ <http://kawanokami.com>

## イシノマキ・カワノカミ大学の考え

わたしたちは、石巻・川の上で、豊かな暮らしと地域のモデルをつくるには、どうしたら良いのか長年考えてきました。石巻のまちは、バブル崩壊以降、衰退の一途を辿っていました。そして、2011年3月11日、東日本大震災と未曾有の津波が石巻地域を襲いました。まさに石巻の危機といえます。とはいえ、文明的な危機的状況に対して、国がおこるも、ほろびるも、まちが栄えるも、衰えるも、ことごとく「ひと」にあります。

石巻・川の上プロジェクトでは、新しい石巻・川の上、日本を生み出すべく、旧大谷地農協の米蔵跡地から「米俵百俵」の精神で、「ひとづくり」をはじめます。米俵百俵は、今は、ただの百俵ですが、後年には一万俵になるか、百万俵になるか、はかりしれない可能性を秘めています。危機に置かれた今だからこそ、教育が必要なのです。100年先、300年先の石巻・川の上の未来に思いを馳せて、世界に誇れる豊かな暮らしと地域のモデルをつくるため、まちを耕し、ひとを育てていきます。

## 米俵百俵の精神

戊辰戦争後、長岡藩は困窮していました。そこへ支藩の三根山藩からお見舞いとして米俵百俵が届きました。これを小林虎三郎は、「食えないからこそ、学校を建てて人材を育てるのだ」という信念を貫き、皆の反対を押し切って「国漢学校」を建てました。それが長岡の復興に繋がっていきました。

## 懇親会でのお料理について

懇親会では、テレビ朝日「みんなの食堂～絶対に残したい!しあわせな味～」という番組で取り上げられた、石巻漁港の丸魚食堂(津波で被災)の亀山寿子さんから三陸・海の幸料理、また、石巻の酒蔵が醸造する日本酒なども振舞われる予定です。

## 会場へのアクセス



- ①三陸縦貫道路・河北ICを出て、国道45号線を気仙沼方面に向かいます。
- ②道の駅「上品の郷」をすぎると、右手にJAのガソリンスタンドがあります。
- ③さらに50Mくらい走り、左手に雄勝方面へ行く側道が出てくるので、国道45号線から側道に入ります。
- ④側道に入ると、須田重機さんの看板が出てくるのでそこを通り過ぎ、白い塀と門が見えます。そこが百俵館です。

なお、お車でお越しの方は、追波川河川運動公園の駐車場をご利用ください。百俵館を通り過ぎるとトンネルがあります。そこを通り抜けると、追波川河川運動公園の駐車場があります。